

地域包括ケアモデル事業 全体(平成26年度～平成28年度)の取組の評価

☆:特に顕著な取組を実施

分野	項目	凡例	①地区医師会モデル									②訪問看護ステーションモデル			③医療・介護等一体提供モデル			④認知症対応モデル		
			安城市			豊川市			田原市			新城市			豊明市			半田市		
			H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
関係機関のネットワーク化	地域包括ケアの理解 課題・認識の共有	◎:連携会議を4回以上開催	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		○:連携会議を3回開催	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
医療と介護の連携	ICTシステムの活用	△:連携会議の開催が3回未満	△	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎
		◎:引き続きICTを推進	△	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎
	○:ICTを新たに導入	△	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	
	△:ICT導入を検討	△	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	
顔の見える関係づくり、資質向上	◎:多職種研修会を3回以上開催	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	○:多職種研修会を2回開催	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
住民への普及啓発	△:多職種研修会の開催が2回未満	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	◎:講演会等を2回以上開催	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
新たな予防の取組	○:講演会等を1回開催	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	△:講演会等を未実施	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
生活支援	生活支援の強化策の検討(取組)	◎:新たな取組を実施・推進	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎
		○:従来の取組に新たなメニューを追加し実施	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎
住まい	要介護等の高齢者の住まいの課題に対する検討(取組)	△:従来と変わらない取組を実施	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎
		◎:新たな取組を実施・推進	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎	-	◎	◎
認知症(認知症対応モデルが対象)	認知症対策の充実	○:検討会議の設置・検討	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	◎	◎	-	○	○
		△:未検討	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	◎	◎	-	○	○
総括	総評	◎:新たな取組を実施・推進	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎
		○:従来の取組に新たなメニューを追加し実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎
総括	主な取組及び課題	△:従来と変わらない取組を実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎
		◎:新たな取組を実施・推進	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◎	◎
総括	総括	◎:新たな取組を実施・推進	地区医師会と連携し、 おおむね順調に取組を進 めている。	地区医師会と連携し、 順調に取組を進めている。	地区医師会と連携し、 おおむね順調に取組を進 めている。	訪問看護ステーションと 連携し、おおむね順調に 取組を進めている。	藤田保健衛生大学と連 携し、順調に取組を進め ている。	認知症対策を始め、順調 に取組を進めている。												
		○:従来の取組に新たなメニューを追加し実施	地域ケア地区会議にお いて、地域課題について の十分な検討を行い、地 域ケア推進会議(市域) へ提起していくことが必 要である。 また、昨年度住まい会 議を開催したものの今年 度は未開催であり、今後 住まいニーズや課題を把 握する等の取組を進めて いく必要がある。	生活支援について は、「いきいき元気メー ル」による高齢者への情 報提供の拡充等の数多く の対策を実施している (☆)。 住まい対策について は、「高齢者すまいの手 引き」の作成や実態把握 調査が進められており、 今後さらなる住まい対策 の展開が望まれる。	今年度、生活支援部会 が設置されたところであ り、新たな取組が望まれ る。 住まい対策について は、今年度実施したアン ケート結果を踏まえた取 組が必要である。	社会資源が限られる中 で、訪問看護ステーショ ンを中心に、医療・介護 が連携し、さらなる在宅 医療の推進が望まれる。 住まい対策については 、本年度実施したアン ケート調査の結果を踏ま え、具体的な取組が必要 である。	ケアプランについての 多職種合同ケアカンファ レンスの開催や、退院支 援地域連携実証事業(患 者退院後の追跡調査)な ど、特徴的な事業に取り 組んでいる(☆)。 住まい対策については、 豊明団地(UR)以外の地 域における対策の推進が 望まれる。	民間事業者との連携によ る市民公開講座の開催や 行方不明高齢者捜索機器 貸与事業の実施等、認知 症に関する数多くの対策を 展開している(☆)。 住まい対策については、 アンケート調査による課題 の把握や市営住宅の独居者 の安否確認のための緊急 立ち入りの制度化などの取 組がされており、今後さらなる 取組の検討が望まれる。												